

2016 年 IEEE 東京支部 総会資料

2016 年 3 月 29 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2016年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2016年3月29日（火） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 6階 66
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2015年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2015年決算報告

第3号議案：2016年活動計画

第4号議案：2016年予算

講 演 会

日 時： 2016年3月29日（火） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者：原島 文雄先生（首都大学東京 名誉学長、IEEE Life Fellow）

（2015 IEEE Haraden Pratt Award 授賞）

演 題：IEEE コミュニティにおける多様性と国際化

新Fellow表彰式

日 時： 2016年3月29日（火） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2016年3月29日（火） 17時00分～19時00分

場 所： 機械振興会館 5階 倶楽部

2015-2016 年 IEEE 東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	萩本 和男	(NTT エレクトロニクス)
Vice Chair	副支部長	江村 克己	(日本電気)
Secretary	セクレタリ	原崎 秀信	(日本電気)
Treasurer	トレジャラ	藤代 博記	(東京理科大学)

2. 理事会メンバー

*萩本 和男 (NTT エレクトロニクス)	*中込 直幸 (日本電気)
*江村 克己 (日本電気)	*眞田 幸俊 (慶應義塾大学)
*原崎 秀信 (日本電気)	*奥田 治雄 (湘南工科大学)
*藤代 博記 (東京理科大学)	稲田 浩一 (フジクラ)
*前田 英作 (NTT)	西宮 康治朗 (シュルンベルジェ)
*松島 裕一 (早稲田大学)	津田 俊隆 (早稲田大学)
*★福島 徹 (古河電気工業)	千葉 勇 (三菱総合研究所)
*植之原 裕行 (東京工業大学)	高村 誠之 (NTT)
*佐波 孝彦 (千葉工業大学)	杉江 利彦 (NTT エレクトロニクス)
	矢野 絵美 (リコーITソリューションズ)

(注： *印は、理事会の Voting Member。選挙で選出)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	前田 英作 (NTT)	川村 龍太郎 (NTT)	木村 昭吾 (NTT)
Fellow Nominations	松島 裕一 (早稲田大学)	浅田 雅洋 (東京工業大学)	森田 逸郎 (KDDI 研究所)
Membership Development	★福島 徹 (古河電気工業)	★中村 浩史 (古河電気工業)	井 通暁 (東京大学)
Nominations	植之原 裕行 (東京工業大学)	二見 史生 (玉川大学)	水野 洋輔 (東京工業大学)
Technical Program	佐波 孝彦 (千葉工業大学)	瀬戸 一郎 (東芝 セミコンダク ター&ストレージ社)	萬代 雅希 (上智大学)
Publications	中込 直幸 (日本電気)	小糸 達也 (日本電気)	濱岡 牧子 (日本電気)
Student Activities ☆	眞田 幸俊 (慶應義塾大学)	植野 彰規 (東京電機大学)	稲森 真美子 (東海大学)
History	奥田 治雄 (湘南工科大学)		宮崎 孝 (日本電気)

☆Student Activities Student Representative 青木孝太 (東京理科大学 SB Chair)

★Membership Development 2016 年 4 月以降、中村 浩史 Chair に就任予定

IEEE 東京支部 2015 年 活動報告

- 2015 年 IEEE 東京支部総会 参加者：38 名
3 月 20 日 (金) 14 時 30 分～15 時 00 分
・2014 年活動報告、2014 年会計報告、2015 年活動計画、2015 年予算の説明等の議事を行った。
- 理事会
第 1 回理事会：2015 年 3 月 20 日 (金) 12:00～13:45 参加者：18 名
第 2 回理事会：2015 年 6 月 16 日 (火) 15:00～17:00 参加者：15 名
第 3 回理事会：2015 年 9 月 25 日 (金) 15:00～17:00 参加者：13 名
第 4 回理事会：2015 年 12 月 4 日 (金) 15:00～17:00 参加者：16 名
- **Metro Area Workshop in Tokyo**
5 月 15 日～16 日 早稲田大学において Metro Area Workshop in Tokyo 2015 を開催し、併催事業を含め約 200 名の方々の参加を得た。(東京支部 YP, JC WIE 共催、JC 主催 Student Leadership Training Workshop, IEEE 主催 Authorship Workshop と併催)

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
 - 1) 3 月 20 日 (金) 15 時 10 分～16 時 10 分 参加者：43 名
※LMAG 共催
演題：「私の MGA 体験談」
講師：中里 秀則氏 (早稲田大学、IEEE Japan Council SAC Chair)
 - 2) 5 月 21 日 (木) 13 時～14 時 15 分 参加者：130 名
「NTT, 古河電工, 住友電工, フジクラ IEEE Milestone 記念講演会」
※LMAG TOKYO 共催
演題 1：「IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computing の概要」
講師 1：白川 功氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)
演題 2：「VAD 法開発の経緯」
講師 2：伊澤 達夫氏 (千歳科学技術大学 理事長)
演題 3：「VAD 法の実用化と普及」
講師 3：田中 茂氏 (住友電気工業 代表取締役 専務取締役 研究統轄本部長)
 - 3) 7 月 17 日 (金) 14 時 30 分～17 時 20 分 参加者：67 名
「無線通信に関する見学会、講演会」 ※LMAG 主催/東京支部共催講演会
・見学会：電気通信大学コミュニケーションミュージアム

演題 1：「マクスウェル方程式を書いたのは誰？
— 併せて電磁気学への日本人の貢献について —」
講師 1：小林 岳彦氏 (東京電機大学)
演題 2：「携帯電話の歴史と 5G への道のり」
講師 2：尾上 誠蔵氏 (NTT ドコモ 取締役常務執行役員)

(総会—第1号議案)

- 4) 8月4日(火) 15時30分～17時00分 参加者：34名
「2015 IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award受賞記念講演会」※LMAG共催
演題：「自律分散概念から華厳世界観へ」
講師：井原 廣一氏(元日立製作所、現知的社会システム研究開発機構)
- 5) 9月26日(土) 10時00分～12時00分 参加者：64名
「2015年 IEEE Cleo Brunetti Award受賞記念講演会」※LMAG共催
演題：「微細化限界が迫る電子デバイスの未来」
講師：岩井 洋氏(東京工業大学 名誉教授 大学院総合理工学研究科 産学官連携研究員)
- 6) 12月7日(月) 14時30分～17時00分 参加者：73名
国際光年記念講演会「光通信の半世紀とこれから」 ※LMAG 主催/東京支部共催講演会
講演1：「光ファイバの40年とこれから」
講師1：山内 良三氏(フジクラ 常任顧問)
講演2：「光通信用光デバイスのこれまで・これから」
講師2：小林 功郎氏(東京工業大学 名誉教授)
講演3：「光通信システムのこれまで・これから」
講師3：三木 哲也氏(電気通信大学 名誉教授)

Students Activities

- 1) 4月18日(土) IEEE LMAG/Student/YP/WIE 交流会
- 2) 5月15日(金)～16日(土) 2015IEEE Student Branch Leadership Training Workshop
- 3) 7月9日(木)～12日(日) R10 Student/YP/WIE Congress 2015
- 4) 11月28日(土) TOWERS (Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers)

Affinity Group Activities

1 YP

- 1) 3月11日(水) YP 関西支部と YP 東京支部の情報交換会
- 2) 4月18日(土) IEEE LMAG/Student/YP/WIE 交流会
- 3) 5月15日(金)～16日(土) Metro Area Workshop および SYW ワークショップ
- 4) 7月9日(木)～12日(日) R10 Student/YP/WIE Congress 2015
- 5) 9月7日(月) NTT 横須賀研究所/NTT DOCOMO 研究所 見学会 (STEP イベント)
- 7) 9月10日(木)～12日(土) WIE Leadership Summit 2015
- 8) 11月16日(月) Essay Contest

2 Life Members

- 1) 1月28日(水) Newsletter 第14号発行/HP掲載
- 2) 3月20日(金) LMAG 総会
- 3) 3月20日(金) 中里 秀則氏講演会(東京支部 TPC と共催)
- 4) 4月18日(土) IEEE LMAG/Student/YP/WIE 交流会
- 5) 5月21日(木) NTT, 古河電工, 住友電工, フジクラ IEEE Milestone 記念講演会
(東京支部 TPC と共催)
- 6) 6月15日(月) Newsletter 第15号発行/HP掲載
- 7) 7月17日(金) 「無線通信に関する見学会、講演会」(東京支部 TPC と共催)

(総会—第 1 号議案)

- 8) 8 月 4 日 (月) 井原廣一氏講演会 (東京支部と共催)
- 9) 12 月 7 日 (月) 国際光年記念講演会「光通信の半世紀とこれから」 (東京支部 TPC と共催)
- 10) 12 月 22 日 (火) Newsletter 第 16 号発行/HP 掲載

Awards & Recognition Activities

- Milestone : NTT, 古河電工, 住友電工, フジクラの「VAD 法」が Milestone に認定され 5 月 21 日 (木) パレスホテル東京にて贈呈式が開催された。
- 新 Fellow 表彰式 : 3 月 20 日 (金) 16 時 20 分~17 時 00 分
・新 Fellow は 6 名 (3 名が表彰式に参加)
- Membership Retention 率が IEEE 本部側の設定した目標を達成したとして、2015 Outstanding Section Membership Retention Perfomace 表彰を授与された。

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- Tokyo Bulletin を 5 回発行/HP に掲載した。
(1 月 23 日、5 月 22 日、6 月 30 日、10 月 27 日、12 月 24 日)

Other Organizational Activities

- R10 Region 10 Annual General Meeting 2015 が 3 月 6 日~8 日バングラデシュ (ダッカ) に
おいて開催され、萩本 Chair、原崎 Secretary が参加した。
- 4 月 23 日 (木) IEEE 会長他ボードメンバの訪問を受けた。
- 現在 Japan Council 傘下に所属する Chapter を、支部傘下に移行する作業を進めており、
2015 年には 24 Chapter が東京支部傘下に移行した。

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681
2012	14,298	426	3.07	4	528	875	10,449	617	1,825
2013	14,384	86	0.60	4	525	879	10,538	461	1,977
2014	14,231	-153	-1.06	4	524	898	10,598	420	1,787
2015	14,326	95	0.67	4	521	915	10,594	401	1,891

東京支部 2015年会計報告

2016/2/19

単位: JPY

●収入	2015年予算 (想定US\$1=104)	2015年決算 (1/1-12/31)	予算比	備考
IEEE本部勘定 (Rebate・SA)	18,212,480	21,017,382	115%	平均レートUS\$1 = 118.45
支部Rebate	3,224,000	3,588,803	111%	\$30,178-
Chapter Rebate	428,480	446,544	104%	\$3,755-
YP Rebate		26,162	-	\$220-
LMAG Rebate		35,082	-	\$295-
SB Rebate		102,985	-	\$866-
LMAG FUND		118,920	-	\$1,000-
YP FUND		103,460	-	\$870-
Section Assessment (SA)	14,560,000	16,595,426	114%	前期 \$ 136,660- 後期 \$ 3,582-
雑収入	5,000	3,540	71%	受取利息等
その他(立替支出分の入金)	500,000	3,784,946	757%	
MAWサポート入金		383,954	-	
ブランク回収		2,455,252	-	
MGA立替分入金		772,940	-	
監査費用入金		172,800	-	
Section Assessment還元	0	1,659,543	-	SAの10%
積立金取崩(定期預金から)	816,000	2,705,062	332%	定期預金解約
事務局設備基金取崩		1,205,062	-	
為替変動準備金取崩		1,500,000	-	
収入合計	19,533,480	29,170,473	149%	
●支出				
Councilへの拠出金	14,560,000	16,592,426	114%	=SA全額(受取手数料控除後)
会合費	650,000	945,813	146%	
総会	500,000	517,491		新Fellow記念品/資料印刷代/ 会場費/懇親会費等
講演会	100,000	197,061		会場費他
理事会	50,000	205,979		2014年第3回理事会開催費用含む
その他会合費	0	25,282		
Committee活動費	50,000	146,328	293%	LMAG 活動費等 (Fund請求あり)
YP支援費	130,000	69,901	54%	R10 SYWC参加費支援 他
YP Fund /Rebate 支払		129,622	-	=本部からのFund/Rebate受取分
SB 支援費	1,000,000	717,331	72%	
SB Rebate支払い	0	102,985	-	=本部からのRebate受取分
Chapter Rebate支払い	428,480	446,539	104%	=本部からのRebate受取分
事務局費	1,215,000	1,409,948	116%	
事務所設備費用	200,000	279,737	140%	プロジェクタ・PC 購入
ITサービス運用費	860,000	859,950	100%	保守/トラブル対応/HP 等
通信費	5,000	3,194	64%	宅配便・郵券費等
その他(支払手数料等)	150,000	94,267	63%	
前年度監査費用	0	172,800	-	
予備費	1,500,000	4,975,407	332%	
MAW		673,369	-	
ブランク立替		2,455,252	-	
MGA立替		772,940	-	
その他		1,073,846	-	R10SYWC 3名/ WIEILS 1名 支援等
支出合計	19,533,480	25,536,300	131%	
収入-支出	0	3,634,173	-	
前年度繰越金(運営費繰越金)	2,619,562	2,619,562	100%	
次期繰越金	2,619,562	6,253,735	239%	うち¥498,000-は 2015年度承認サーバ移行費用 2016年使用

2015年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

2015年度決算報告より、本部報告(監査対象)に即した変更を行う。

- 1) CB (Concentration Banking) 口座預金(主に本部からドル建てのRebate等の入金口座)を追加する。
CBへの入金日を計上日の基準とする。
- 2) 本部報告項目に沿った報告とする。
- 3) 経過勘定(前払費用、未収収益等)を用いて当年度の活動に即した会計報告を行う。

※本部報告および監査基準による

科 目	2015年12月31日	2014年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	6,253,735	2,619,562
○定期預金	13,993,281 ※)IC預り分	16,698,343
○CB預金	179,684	
◇現金・預金合計	20,446,700	19,337,905
◇その他流動資産	-	-
流動資産合計:	20,446,700	19,337,905
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計:	145,600	145,600
資産合計:	20,592,300	19,483,505
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	-	-
2. 固定負債		
	-	-
負債合計:	-	-
3. 正味財産		
負債および正味財産合計:	20,592,300	19,483,505
Statement of Activities		
I. 収益の部		
1. 30) 外部からの支援金 (MAW)	90,000	-
2. 10) 会議等参加費	60,000	-
2. 90) 会議等参加費 (MAW)	384,000	-
3. 10) 本部からのRebate受取		3,152,805
-1 支部Rebate	3,632,863	
-2 YP Rebate	26,484	
-3 LMAG Rebate	35,512	
-4 SB Rebate	121,825	
-5 Chapter Rebate	452,027	
3. 20) 本部からのFund受取		
-1 LMAG Fund	-	-
-2 YP Fund	104,731	226,182
3. 30) Councilからの受取 (SA選元分)	1,659,543	-
3. 32) その他本部からの受取		
-1 監査費用サポート	172,800	168,000
-2 MAWサポート	293,954	-
-3 MGA Board費用立替分	772,940	-
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	16,595,426	14,678,881
3. 40/3. 45) 受取利息	8,819	3,641
3. 70) その他受取 (Milestone銘板代立替分)	2,455,252	907,053
◇CB算入金 (2015年期首残高分)	307,456	
収益合計:	27,173,632	19,136,562
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	945,813	699,281
4. 70) Professional Activities	-	19,080
4. 80) Student Branch支援費	848,339	955,279
4. 90) -1 LMAG活動費	206,328	126,078
-2 YP活動費	199,754	173,845
-3 Milestone銘板代立替	2,455,252	907,053
-4 MAW関連支出	1,057,369	-
-5 R10 SYWC/WIE LS参加支援	467,948	-
-6 その他活動費	605,898	-
5. 15) Sections Congress Expenses	-	293,133
5. 50) -1 Councilへの拠出金	16,592,426	14,493,907
-2 Chapter Rebate支払	446,539	-
5. 54) MGA Board費用立替	772,940	-
5. 60) 事務局費および一般管理費	1,466,231	1,158,371
費用合計:	26,064,837	18,826,027
正味財産増減額	1,108,795	310,535
期首正味財産	19,483,505	19,172,970
期末正味財産	20,592,300	19,483,505

2015年CBを含む
本部からCB入金日
基準で計上
本部指定2015年
換算レート
1\$=¥120.38を使用
/2014年決算はCBを
含まず

懇親会費徴収分
については2.10へ
MAW参加費徴収
分については2.90
へ
計上

LMAG Fund
2015年News Letter分
については
2016年本部請求

(総会—第2号議案)

科 目	2015年12月31日	2014年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
1. 30) 外部からの支援金 (MAW)	90,000	-
2. 10) 会議等参加費	60,000	-
2. 90) 会議等参加費 (MAW)	384,000	-
3. 10) 本部からのRebate受取	4,268,711	3,152,805
3. 20) 本部からのFund受取	104,731	226,182
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	1,659,543	-
3. 32) その他本部からの受取	1,239,694	168,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	16,595,426	14,678,881
3. 40/3. 45) 受取利息	8,819	3,641
3. 70) その他受取 (Milestone銘板代立替分)	2,455,252	907,053
◇CB算入金 (2015年期首残高)	307,456	
収入合計 :	27,173,632	19,136,562
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	945,813	699,281
4. 70) Professional Activities	-	19,080
4. 80) Student Branch支援費	848,339	955,279
4. 90) その他活動費	4,992,549	1,206,976
5. 15) Sections Congress Expenses	-	293,133
5. 50) 支部およびChapter支援	17,038,965	14,493,907
5. 54) MGA Board費用立替	772,940	-
5. 60) 事務局費および一般管理費	1,466,231	1,158,371
支出合計 :	26,064,837	18,826,027
現金・預金増減額	1,108,795	310,535
期首現金・預金残高	19,337,905	19,027,370
期末現金・預金残高	20,446,700	19,337,905

2015年度IEEE 東京支部 決算報告書 (前年基準)

※前年基準にて作成

科 目	2015年12月31日	2014年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	6,253,735	2,619,562
○定期預金	13,993,281 ※)JC預り分	16,698,343
◇現金・預金合計	20,267,016	19,337,905
◇その他流動資産		
流動資産合計 :	20,267,016	19,337,905
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品		
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	20,412,616	19,483,505
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	-	-
2. 固定負債		
	-	-
負債合計 :	-	-
3. 正味財産	20,412,616	19,483,505
負債および正味財産合計 :	20,412,616	19,483,505
Statement of Activities		
I. 収益の部		
◇支部リベート	4,421,956	3,152,805
◇Section Assessment	16,595,426	14,496,907
◇Section Assessment (JCより還元)	1,659,543	-
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分等)	3,784,946	1,483,209
◇受取利息	3,540	3,641
◇Section Congress支援費		
◇雑収入		
収益合計 :	26,465,411	19,136,562
II. 費用の部		
◇会合費	945,813	699,281
◇Student Branch支援費	820,316	955,279
◇YP支援費	199,523	173,845
◇Committee活動費	146,328	145,158
◇Chapter支援費	446,539	-
◇Japan Councilへの拠出金	16,592,426	14,493,907
◇事務局費および一般管理費	1,409,948	1,158,371
◇予備費	4,975,407	1,200,186
費用合計 :	25,536,300	18,826,027
正味財産増減額	929,111	310,535
期首正味財産	19,483,505	19,172,970
期末正味財産	20,412,616	19,483,505
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
◇支部リベート	4,421,956	3,152,805
◇Section Assessment	16,595,426	14,496,907
◇Section Assessment (JCより還元)	1,659,543	-
◇予備費	3,784,946	1,483,209
◇受取利息	3,540	3,641
◇雑収入		
収入合計 :	26,465,411	19,136,562
II. 支出の部		
◇会合費	945,813	699,281
◇Student Branch支援費	820,316	955,279
◇YP支援費	199,523	173,845
◇Committee活動費	146,328	145,158
◇Chapter支援費	446,539	-
◇Japan Councilへの拠出金	16,592,426	14,493,907
◇事務局費および一般管理費	1,409,948	1,158,371
◇予備費	4,975,407	1,200,186
支出合計 :	25,536,300	18,826,027
現金・預金増減額	929,111	310,535
期首現金・預金残高	19,337,905	19,027,370
期末現金・預金残高	20,267,016	19,337,905

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2015.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

We conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2015 or the result of its operation or cash flow for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2015 have been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

February 19, 2016

2016年 活動計画

1. 財政運営

3年前の円高に対応し、2013-14年執行部により効果的な予算の運用が行われた。その後の円安もあり、2015年の収支は健全。2016年では、会員獲得、会員継続に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

2. Japan Council からの Chapter 移行の受け入れ

現在 Japan Council に所属している各 Chapter を適切なセクションに所属させる移行手続きは進んだが、未完了なので継続。東京支部は Chapter 設立支援委員会を中心に東京支部が所管となる Joint Chapter の設立に協力する。Chapter Promotion Committee を Chapter Operation Committee として再位置づけするかも含めて、この後検討していく。

3. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

東京支部選出の Japan Council 理事を、2016/1/1 より以下の通り変更した。

(現) 萩本 Chair、江村 Vice Chair、藤代 Treasurer、原崎 Secretary から

(新) 萩本 Chair、江村 Vice Chair、西宮康治朗 YP Chair、矢野絵美 JC WIE Chair
それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

4. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

5. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、2016 では関西支部主催で MAW2016 が開催される。東京支部からも参加者を出すなど、検討していく。

6. Japan Council/東京支部のサーバの更新の支援

経年変化によりサーバ更新を行っている。

7. 委員会活動

7-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学(2015年8月設立)の12校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学があり(全国合計 27 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

7-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、IEEE の全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年と同様に、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

7-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG、YP ほか各グループとの共催を積

極的に推進する。また、ビデオでの記録および配信など新しい工夫を試みる。

7-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committeeが発行するIEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

7-6. History Committee

2014年、日本で初めてのSection傘下のHistory Committeeを常設委員会として発足した。今後も、Milestone認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

東京支部60周年記念: History Committeeが中心となり、Webで簡単に済ます方向で検討。

2017年 Histelcon 国際歴史シンポジウム: 開催の計画がある。開催にむけた支援を検討する。

7-7. 若手会員およびLife会員向け活動の活性化

2010年10月に設立されたTokyo Life Members Affinity Groupを中心に、Life会員自身の活動の活性化を支援する。また、2008年11月に設立されたTokyo Young Professionals(2014年からYP(卒業後15年間)に変更となった)、LMAGに加えてさらにJC WIEとの連携・交流を推進する。

8. 本部およびRegion 10との連携強化

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Officeと連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部およびRegion 10の各種委員会メンバーおよび各種Awardに対して、東京支部から積極的に推薦する。

9. 2016年理事会/総会開催日程

第一回理事会/総会:	3月29日(火)	機械振興会館
第二回理事会:	6月16日(木)	NEC本社ビル
第三回理事会:	9月28日(水)	NEC本社ビル
第四回理事会:	12月14日(水)	機械振興会館

以上

【東京支部/JC 会計の透明化について】

◆旧東京支部預り金の管理変更について

旧東京支部預り金とは、1998年8支部体制になる以前の旧東京支部が為替変動積立金として保持していたもので、1999年のIEEE Japan Council (JC) 設立時以降も旧東京支部預り金 (=JC預り金) として暫定的に東京支部が保管し口その運用はJC理事会にて決定することを提案し承認されたものである。
正しい管理下に置くことを目的として、2016年中に旧東京支部預り金をJC名義に移管、会計管理もJCへ移行を行う。

◆東京支部事務局費について

東京支部事務局については、JC設立以降、JCおよび東京支部共有の事務局として運営を行っていたが、会計負担については不明確であった。2016年度より、JC が負担していた事務局経費のうち東京支部事務局費用相当分 (全体の20%) を東京支部会計へ移行することが両理事会にて承認された。これに伴いJCは最小限の費用を確保後し、残りのSection Assessmentは各支部へ還元する。
(2016年度 Section Assessment全体の18%)

単位: JPY

想定レート: US1\$ = ¥106- (2016/3/1現在 為替レート ¥111-5)

【収益の部】	2016年予算	2015年決算	備考
1.30 Meetings&Social Events	-	90,000	(MAW外部からの支援金)
2.10 Meetings&Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	-	60,000	
2.90 Meetings&Social Events	-	384,000	(MAW参加費徴収)
3.10 Rebate from IEEE HQ			
支部Rebate	3,198,868	3,632,863	30,178US\$(前年度実績)
YP Rebate	23,320	26,484	220US\$ (前年度実績)
LMAG Rebate	31,270	35,512	295US\$ (前年度実績)
SB Rebate	107,272	121,825	1,012US\$ (前年度CB入金実績)
Chapter Rebate	1,029,790	452,027	9,715US\$ (前年度JC傘下+東京傘下 合計実績) * 支部移行完了と想定
3.20 Region Receipts			
LMAG FUND	106,000	-	1,000US\$s想定
YP FUND	-	104,731	870US\$ (前年度実績) 2016年未定
3.30 Sections or Councils			
JCからのSection Assessment還元	2,675,817	1,659,543	=SA の18% (2016年)
3.32 Receipts from MGA			
監査費用サポート	172,800	172,800	=支出と相殺
本部からのサポート	-	1,066,894	(MAWサポート/MGA立替入金)
3.34 IEEE HQ & Societies			
本部からのSection Assessment受取	14,865,652	16,595,426	
3.40 Interest (CB)	5,000	5,279	
3.45 Interest (CB以外)	3,000	3,540	
3.70 Other (Milestone銘板代立替)	-	2,455,252	
- CB算入金	-	307,456	
収益合計	22,218,789	27,173,632	

【費用の部】

4.10 Meetings & Social Events			
理事会・各委員会費	250,000	205,979	12月理事会・懇親会 (約20万) 支出予定
その他会合費	50,000	25,282	マイルストーン打合せ等
総会運営費用	500,000	517,491	
講演会開催費用	200,000	197,061	
4.80 Student Activities			
SB支援費	1,050,000	745,354	
SB Rebate&Fund支払い	107,272	102,985	=本部からのRebate Fund受取分
4.90 Other Program Expenses			
LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	150,000	206,328	
YP 支援費	205,000	70,132	
YP Rebate & Fund支払い	23,320	129,622	=本部からのRebate受取分
5.50 Support to Sections/Chapters			
Councilへの拠出金	14,865,652	16,592,426	=SA
Chapter Rebate 支払い	1,029,790	446,539	=本部からのRebate受取分
事務局費 計	3,335,300	1,466,231	
事務局費1 (JC/東京支部共通費用のうち東京支部負担分: 20%)	2,520,000	-	
事務局費2 (共通サーバ運営費のうち東京支部負担分: 25%)	132,500	-	
事務局費3 (東京支部)	682,800	1,466,231	
予備費			
5.60 東京支部 WEBサーバ移行費用	498,000	-	※2015年度第3回理事会承認 2015年繰越金使用
- その他予備費	1,002,000	1,073,846	2016 R10イベント (Pan'g'0-ll) 派遣予定
4.90 Milestone銘板代金	-	2,455,252	
4.90 MAW運営費	-	1,057,369	
5.54 MGA Board費用立替 (MAW)	-	772,940	
費用合計	23,266,334	26,064,837	

収益-費用	-1,047,545	1,108,795	
-------	-------------------	------------------	--

前年度からの繰越金	20,446,700	19,337,905	
(内訳) 普通預金+小口現金+CB	6,453,419	2,639,562	2014年繰越金はCB含まず 2015年繰越金はCB残高 \$ 1492.64-含む (決算時 ¥ 120.38換算)
(内訳) 定期預金	-	2,705,062	
(内訳) 旧東京支部預り金 (JC)	13,993,281	13,993,281	
※旧東京支部預り金の移動 (JCへ)	-13,993,281	-	
次年度への繰越金 (総額)	5,405,874	20,446,700	
(内訳) 普通預金+小口現金+CB	5,405,874	6,453,419	
(内訳) 旧東京支部預り金 (定期)	-	13,993,281	

※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする

2016年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	Haruhiko Okumura 奥村 治彦	東芝	<i>for contribution to image processing and display technologies</i>
2	東京	Hitoshi Kiya 貴家 仁志	首都大学東京	<i>for contributions to filter structure, data hiding, and multimedia security</i>
3	東京	Kenichi Osada 長田 健一	日立製作所	<i>for contributions to reliable and low-power nanoscale SRAM</i>
4	東京	Toru Tanzawa 丹沢 徹	マイクロンメモリ ジャパン	<i>for contributions to integrated high-voltage circuits</i>
5	東京	Kiyoharu Aizawa 相澤 清晴	東京大学	<i>for contributions to model-based coding and multimedia lifelogging</i>
6	東京	Akira Toriumi 鳥海 明	東京大学	<i>for contributions to device physics and materials engineering for advanced CMOS technology</i>
7	東京	Katsumi Kishino 岸野 克巳	上智大学	<i>for contributions to III-V light emitter technology</i>
8	東京	Masayuki Fujita 藤田 政之	東京工業大学	<i>for contributions to passivity-based control in robotics and robust control</i>
9	東京	Shinji Matsuo 松尾 慎治	NTT	<i>for contributions to heterogeneous integration of semiconductor lasers</i>

2016年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	Tatsuo Arai 新井 健生	大阪大学	<i>for contributions to micro manipulators and sensors, and applications to cellular biology</i>
2	関西	Tomohiro Hase 長谷 智弘	龍谷大学	<i>for contributions to embedded software for real-time applications</i>
3	関西	Satoshi Nakamura 中村 哲	奈良先端科学技術大学院大学	<i>for contributions to speech recognition and speech-to-speech translation</i>

2016 IEEE Medals and Recognitions 日本からの受賞者

IEEE Medals	
IEEE MEDAL FOR ENVIRONMENTAL AND SAFETY TECHNOLOGIES	
宮木 正彦 篠原 幸弘 竹内 克彦 (デンソー)	For development of electronic multipoint fuel-injection systems, enabling fuel-efficient and low-emission diesel engines.
IEEE JUN-ICHI NISHIZAWA MEDAL	
江刺 正喜 (東北大学)	For pioneering contributions to micro-electro-mechanical systems (MEMS), and their uses in automobiles, cellular phones, industrial equipment, and medical devices.
IEEE ROBERT N. NOYCE MEDAL	
菅野 卓雄 (東京大学)	For contributions to and leadership in the research and development of the science and technology of semiconductor devices
IEEE Recognitions	
該当者なし	

2016 IEEE Technical Field Awards 日本からの受賞者

IEEE Technical Field Awards	
IEEE Clelio Brunetti Award	
鳥海 明 (東京大学)	For contributions to CMOS device design from materials engineering to device physics
IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award	
守谷 健弘 (NTT)	For contributions to speech and audio coding algorithms and standardization
IEEE David Sarnoff Award	
松波 弘之 (京都大学)	For contributions to the development of silicon carbide (SiC) crystals and devices for advanced power electronics

2015 Region 10 Award 日本からの受賞者

IEEE R10 Outstanding Volunteer Award	
西原 明法 (東京工業大学)	

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 14th March 2014.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org